

「訪問看護入門プログラム」について

平成28年2月25日
公益社団法人 日本看護協会

訪問看護入門プログラム作成の背景

- 地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、訪問看護は、従来に増して質の高いサービスが求められていくこととなります。日本看護協会は、高まる訪問看護の需要に対応するために、様々な対策に取り組んでいます。その中の1つとして、「訪問看護入門プログラム」を作成しました。
- 「訪問看護入門プログラム」は、より多くの看護職が訪問看護師になるための機会を拡大する目的で作成したものです。新卒者も含めて、訪問看護を志す看護職が誰でも受講でき、訪問看護への「始めの一步」を踏み出すことができることを目的としたプログラムです。
- 平成25年度に、プログラム案の作成を公益財団法人日本訪問看護財団に委託し、その後、複数の訪問看護ステーションにおける試行事業を経て完成させました。

訪問看護入門プログラムの目的

訪問看護未経験でも訪問看護を志す看護職が誰でも受講でき、「自分も訪問看護ができそうだ」「やってみよう」という気持ちになれること

- 難しい内容や詳細な制度をつめこんだり、専門性の向上を図る高度な研修ではありません。
- 訪問看護への興味と意欲が高まることが主眼です。
- このプログラムにより、訪問看護への第一歩を踏み出した後、継続的な教育研修につなげていく、という流れを想定しています。

まずは訪問看護への第一歩を！

今後に向けて

- 日本看護協会公式ホームページに公開し、誰でも活用できるようにします。
- 訪問看護認定看護師等を対象とした説明会を開催します
- 今後寄せられたご意見をもとに改訂も予定しています。
- 講師、ファシリテーターの育成をすすめます。